

今号の内容

- *団結一周年中央委員会論文 / パンフ紹介 2 ~ 3 面
- *10・24 大阪行動報告 4 面
- *東富士 / 東山 5 面
- *刑法 / 労働運動の再生 5 面
- *階級的労働運動 6 面
- (総評括2) 6 面
- *日本資本主義の危機 / 韓国「政治犯」虐殺弾劾 7 面
- *第四インター批判(中) 8 面

1982年
11月10日
第25, 26合併号
(通巻73号)
8頁 250円

赤旗

共産主義者同盟中央機関紙

発行所 赤旗社

編集・発行人 北沢晋
東京都大田区大森北1-13-11
電話 03(766)4729
郵便番号 東京7-86947
関西赤旗社 大阪市福島区大門
1-19-13副島ビル
電話 06(462)7030

毎月10日、25日発行
1980年2月28日
第3種郵便物認可
定期購読料
1部・22回
手渡し - 3000円
開封郵送 - 3500円
密封郵送 - 4000円

大衆の創造力をくみ尽す嵐の時代の党へ！

(10・24大阪)

今秋期勢は「八三年政治決戦」をいかに闘い、危機を深める帝国主義・自民党政権を攻撃し、労働階級・人民が八十年代の前進の一歩を切り拓けるか否か、その重大な政治局面である。

鈴木退陣にはじまる自民党政争は、戦後保守政治の終えん「日本帝国主義の政治・経済的危機を反映し「五年体制」を補完してきた議会政党の再編成を含めた大きな政治流動化を

開始する気配を見せていく。木退陣直前の十月初旬、民社党佐々木委員長と河本の会談が、また保守中道路線を認めてきた新自由クラブが「反金権全國遊説」を開始し、他方で横枝一富権が十月二日の総評大会直後に革保連合・河本首班指名支持もありえると表明した。

こうしたブルジョア議会の支配構造をめぐる分裂と動向は、単に敵対階級内の政争劇として、いま、わが国もその例外ではなくなっている(七面參照)。

たしかに、誰が独立ブルジョアの政治執行者となるか、と延期されねばならない事態へいたしている。

しかし、政府・支配階級の現状の危機は、彼らの思惑をも越えて日帝の対外・国内矛盾が深まっている。

ヨーロッパでは、米ソ对立にに戦争の危険性を反映し、左の政治対立が深く広く進みはじめた。いま、わが国もその例外ではなくなっている(七面參照)。

たしかに、誰が独立ブルジョアの政治執行者となるか、と延期されねばならない事態へいたしている。

しかし、それへの対応能力を失なうことは、先にも述べたように自らに於ける。

政12月反行革の大衆運動に決起せよ！

民党統治能力の後退、まさにその反映する抗争によって、この時期が生みだされ、また他方では、一部労働貴族、野党を直接その政争に加えるところまで上層の矛盾を深めさせたことである。

そこで、今秋期の「八三年政治決戦」に向けた緊要な課題である。

十二・二国際反戦闘争における近来にない労働者の活性化。

こうした中で、支配階級は自己の

内外の政策の行きつまりを強調

臨調最終答申は、現在の「政治空白」によつてほぼ来年初頭へ

当面政府が、不安定になろうと

も、警察・官僚機構がしっかりと

し、労使関係がしっかりと

れば、国家が危機陥落することは

ない」(七六年桜田)という認識

のもと、大平政権によつてかか

げられた「総合安保戦略」はそ

の随所で破綻した。世界経済不

況の深刻化、米欧貿易摩擦の顕

在財政主導型の経済政策の破

綻、中国对外政策の「変更」、中

東(イラン)・韓国との階級闘争の

激化、アジア人民の反日闘争、

しかし、政府・支配階級の現

状の危機は、彼らの思惑をも越

えて日帝の対外・国内矛盾が深

まっている。

ヨーロッパの政治執行者となる

か、と延期されねばならない事態へ

いたしている。

たしかに、誰が独立ブルジョ

アの政治執行者となるか、と延

期されねばならない事態へ

社共に代る革命的労働者党創建にむけた
わが同盟の提案

「分裂から統合へ」
—我々はなんであり、どこから、どこへいこうとするのか—

(1) 社共に代る革命的労働者党創建にむけた わが同盟の提案
(2) 「分裂から統合へ」 —我々はなんであり、どこから、どこへいこうとするのか—
(3) 社共に代る革命的労働者党創建にむけた わが同盟の提案
(4) 「分裂から統合へ」 —我々はなんであり、どこから、どこへいこうとするのか—
(5) 社共に代る革命的労働者党創建にむけた わが同盟の提案

共産主義者同盟

日本共産主義連

団結1周年 読者に送る

本小冊子は副題が示す通り
「我々はなんであり、どこから、
どこへいこうとするのか」その
政治・組織方面を述べたもので
ある。

「分裂から統合へ」
—我々はなんであり、どこから、どこへいこうとするのか—

△ 目次 △

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

第四に、いち早く労働運動に主戦場をうつし、社共に代る
プロレタリア政治と組織を模索する第四インター、労働
者党、わが同盟など諸派。
この新左翼潮流の再分化と再編は、ブルジョア国家権力
の戦後支配体制からの再編、「戦争推進国家」形成をめぐ
り一層加速されている。その再編分化の基軸は、この
帝国主義国家の金戦線にわたる攻撃に対し、戦争が平和か、
反動が民主主義かをめぐらつきおこつてきている全民民
衆闘争を、労働者階級を主導力とした社会主義革命の
發展へと展望していくのか否かである。われわれはこの
大衆闘争の貢献中に、革命的労働者党創建の基礎をより強固
に築き上げねばならない。敵・支配階級は改革・人間凍結
攻撃に示されるところ、彼らの側から戦後方資関係・支配
体系の国家的強再編に出でてきた。これに対し戦後民主主義

の防衛にとどめるか、そ
の社会主義を求める労働者階級を基軸とした党、統一戦線を
生みだすか、日本革命の集脳の課題である。
そうであればこそ、われわれが注目すべきは、いわゆる
「無党派層」および先進的労働者の新しい傾向である。
「社会主義と労働運動の結合をめざす」(全通労研交流会)

や、「窓口的には労働者が主人公である社会の建設をめざす
組合」(労働戦線の右翼再編に反対し、階級的労働運動をす
める労組活動家(集団)連絡会議やあるいは三里塚における
労農同盟、闘う農業等、あらたに新左翼を越えて、社
会主義革命の戦略的展望の中に、自己の歴史的未来を選択
する公然とした動きである。

こうした部分(社共から離れた部分も)これまで新
左翼派の路線的破綻の現実に反発して、「無党派層」として
つまり「過渡的な階級役割を担つて」。しかし今日で
は、「統一協議会」への共感が、無条件にこれらから最も多く
寄せられている事実を見るごとく、新しい強固な党ぬき
無党派のまま社会主義の展望は開きえないことが自覚
されはじめ、この先進層は行動を開始しつつある。
こうした過渡期における革命的左翼・諸運動の構造
でこそ、まさにわが同盟が昨秋登場し、この一年、前述
をはたしてたる役割と意義が一層鮮明となろう。
わが同盟はこうした領域へ突入したことと示している。
現し、もつて、この過渡期の中で生れている先進的プロレ
タリアートの革命的創造力に依拠してすむ、日本共産主
義運動の再生の申し子となりねばならない。

な「赫旗批判」は、われわれの前進の結果であると同時に、
わが同盟がこうした領域へ突入したことと示している。

わが同盟は、これまでと異なる地平で、これを敢然と引き受け、闘い、行動する党として飛躍しよう。

そこで、当面する四中総方針・今秋・「八三年政治決戦」

を更に闘うにあたって、特に、同盟の思想建設と組織建設

を強化する必要がある。

そこで、わが同盟がこうした領域へ突入したことと示している。

わが同盟は、これまでと異なる地平で、これを敢然と引き受け、闘い、行動する党として飛躍しよう。

そこで、当面する四中総方針・今秋・「八三年政治決戦」

を更に闘うにあたって、特に、同盟の思想建設と組織建設

10・24 大阪行動50万結集

第4会場にはためく「赫旗」横断幕

自民党政府打倒を全人民の合言葉に 急ごう革命的大衆行動の準備を!

反核・反原発・反安保の声
関西電力を攻囲す

10・24 大阪

結合を要し、正規の攻撃戦術の
一層の躍動化を、この「八三年
政治戦」における革命の大衆
行動の準備と飛躍をかけ闘いな
いでいる。

とて闘う同志達とともに、三
里塚外に続く、「万数の号
外赫旗紙・誌、リーフレット
行動の準備と飛躍をかけ闘いな
いでいる。

情宣活動は大きな成功を収める
としている。

同盟建設の確かな手ごたえ すいこまれる万余の『赫旗』号

十・二三重塚・十二京
都、大阪、そして十一・四反核
大阪行動をはじめとして、わが
全国の同志達は労働運動の階級
的再生・社会主義と労働運動の
反霸権闘

十・二三重塚・十二京
総評・右派民間の反核運動の右
翼の再編に抗した、京都・大阪
における戦闘的労働者の登場、
学生美行委・東京労働派遣団

三・二二広島から五・三三東
京へと、大きめ盛り上った反核
反戦運動が米ノ核軍拡に対する
怒りと更に日帝と鈴木政府の戦
争準備と反対と生活破壊と対決
する気運を増させてきた。

しかし、十一・四大阪反核集
会は、高橋等同右派官僚による
国民運動推進組織会議の再編
と自共のそれへの反発、十二
四集会からの分裂、逃亡に直面
した。この事態の中でわれわれ
は反核反安保闘争の更なる前進を図ること、とりわけ、
広汎な人民の戦争への危機感、
反戦攻撃に対する怒りを、革命
的政治戦争の方向へと導き、發
展させていくこと、(二)全世界
人民の反帝・反社帯

十・二三重塚・十二京
総評・右派民間の反核運動の右
翼の再編に抗した、京都・大阪
における戦闘的労働者の登場、
学生美行委・東京労働派遣団

三・二二広島から五・三三東
京へと、大きめ盛り上った反核
反戦運動が米ノ核軍拡に対する
怒りと更に日帝と鈴木政府の戦
争準備と反対と生活破壊と対決
する気運を増させてきた。

しかし、十一・四大阪反核集
会は、高橋等同右派官僚による
国民運動推進組織会議の再編
と自共のそれへの反発、十二
四集会からの分裂、逃亡に直面
した。この事態の中でわれわれ
は反核反安保闘争の更なる前進を図ること、とりわけ、
広汎な人民の戦争への危機感、
反戦攻撃に対する怒りを、革命
的政治戦争の方向へと導き、發
展させていくこと、(二)全世界
人民の反帝・反社帯

十・二三重塚・十二京
総評・右派民間の反核運動の右
翼の再編に抗した、京都・大阪
における戦闘的労働者の登場、
学生美行委・東京労働派遣団

争と固く結びつけること、(三)
行革・人効凍結警と右翼労戦
統一反対の闘いを結びつける、
反戦安保の闘いを引き立てる階
級的労働運動の再生を図ること、
を中心課題として闘いいた。

組織的には、東京に於る革命
的潮流の共闘準備と運動し、大
阪・京都等を中心に地方委を先
頭に広範な労働者・市民・学生
の決起を促す伝言、煽動を行つ
た。関西各大学に於る情宣、二
一の国際反戦デーでの情宣、そ
して四日には万余の「赫旗」

号外の配布として貫徹した。ま
た、各細胞に於て、民同の官僚
統制をねのは、日共のボイコ
ットをうち破り周辺労働者の広
汎な決起を組織していった。

他方、前述の課題を推し進め
て第四会場に集中したところみ
て、第四日には万余の「赫旗」

号外の配布として貫徹した。
京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。
その結果、金澤市やセネ石井労
働委員会を組織し、二四日の前

段集会へ急流をかちとつた。
行われつつも、十月行動委に勞
働情報大阪支局が参加しつつも、
京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。
このように広汎な取り組みが

聞いとり、関西電力に対する抗
議デモを貫徹した。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。
このように広汎な取り組みが

聞いとり、関西電力に対する抗
議デモを貫徹した。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

このように広汎な取り組みが

聞いとり、関西電力に対する抗
議デモを貫徹した。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

このように広汎な取り組みが

聞いとり、関西電力に対する抗
議デモを貫徹した。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

このように広汎な取り組みが

聞いとり、関西電力に対する抗
議デモを貫徹した。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

このように広汎な取り組みが

聞いとり、関西電力に対する抗
議デモを貫徹した。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

このように広汎な取り組みが

聞いとり、関西電力に対する抗
議デモを貫徹した。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

このように広汎な取り組みが

聞いとり、関西電力に対する抗
議デモを貫徹した。

京都に於ては、京都労働運動
委員会が、京都美行委を主幹と
して、労働者階級が全体を牽引
し、労働者階級が形成され、また
医療部も自身の実

行委を形成し参加していった。

階級的労働運動の再生に向けて

総評労働運動の括連載(2)

第1部 総括



「政権獲得はあくまでも立憲手段によって平和的民主的手段によって社会主義を実現する」として、「国連の基本方針と積極的協力提携」組合と行動を保持するとの決定をつけ足せば、その反動性は浮きとある。恒久的世界和平のために、政党和協力関係は相違する……両者の立場が混同されることがあつてはならない」(四項)。

「恒久的世界和平のために、自由にして民主的な労働組合による国際的團結(五項)。

「民主的な労働組合の諸活動は保守反動攻勢を殺し、左翼

西極からの本主義的台頭を防ぎ、民主主義革命を達成するた

めの最大的要素(後文)。

一見して、総評の路線は反共改進・議会主義階級協調。

・企業主義であることがわかる。

これに、総評が朝鮮戦争につなわる第一回緊急会議で、情勢分析の項が全くない

総評結論では、この基

本領、行動綱領、規約の審議が、実際にわずか三千分間であつたというエピソードを残して

いる。

総評が準備会では、この基

本領、行動綱領、規約の審議が、実際にわずか三千分間であつたというエピソードを残して

いる。

総評が準備会では、この

十一月三日 ソウル大一人の暴挙を行った。十月八日ソウル市街を賃く五百余家のデモと抗議する家族・傷院の会が発表された。政局に於て秘かに行われた政治犯六名の処刑と、続々開断のない闇いを前に、全国民投票は文書通り報復といふ暴挙を行った。

一九八四年に在日韓国人陳十鉄(チンドウヒヨン)氏がデッヂ上昇された北朝鮮スパイ事件の金正烈(キムテヨル)氏が、九月一日光州刑務所での政治犯獄中處決である。

李在教(イジエム)氏が、拷問による病死と発表したが、十一月三日、ソウル大一人の暴挙を行った。十月八日ソウル市街を賃く五百余家のデモと抗議する家族・傷院の会が発表された。政局に於て秘かに行われた政治犯六名の処刑と、続々開断のない闇いを前に、全国民投票は文書通り報復といふ暴挙を行った。十月八日ソウル市街を賃く五百余家のデモと抗議する家族・傷院の会が発表された。政局に於て秘かに行われた政治犯六名の処刑と、続々開断のない闇いを前に、全国民投票は文書通り報復といふ暴挙を行った。

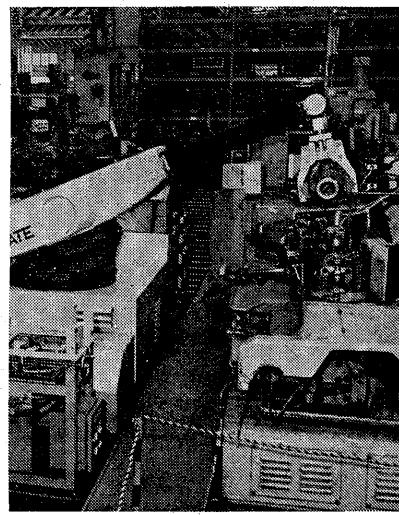
十一月三日 ソウル大一人の暴挙を行った。十月八日ソウル市街を賃く五百余家のデモと抗議する家族・傷院の会が発表された。政局に於て秘かに行われた政治犯六名の処刑と、続々開断のない闇いを前に、全国民投票は文書通り報復といふ暴挙を行った。

全「政治犯」釈放へ総行動の成功を

「政治犯」6名の処刑弾劾

光州いらいの激動——恐怖する全斗煥

世界不況の長期化と日本資本主義の危機



「一九八十年代を迎えて世界共同体が直面している危機は、第一次世界大戦以降最大のものである。」(ブランツ委員会報告)

これは、帝国主義者どもの悲鳴である。

世界貿易が、八一年に統計八

二年も縮少の傾向にある。九月

のメキシコ金融危機の爆発は、

信用不安を拡大し、世界金融危

機の爆発を不可避免にした。英國

西独、イタリア等EU諸国は、

不況・失業・インフレの三重苦

日本経済「上出来」論崩壊する

増大する合理化・失業・雇用不安

の中

で

あ

い

で

い

る

。

米

で

あ

る

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

